

第V章 自由回答

最後に、埼玉県の男女共同参画の推進に関する施策や男女共同参画社会についてご意見やご要望等がございましたら、ご自由にお書きください。

県の男女共同参画の推進に関する施策や男女共同参画社会についての意見や要望に対して、女性176人、男性165人、回答しない7人、性別無回答4人、合計352人から、404件の回答が寄せられた。

ここでは、意見や要望を内容ごとに分類し、その一部を掲載する。

なお、一人の回答が複数の内容にわたる場合には、原文の内容の趣旨が損なわないよう回答を分け、それぞれを1件として分類している。また、掲載については、なるべく多くの方の意見や要望を掲載するため、回答の文中から一部抜粋した場合もある。

【男女共同参画について】

◎家庭、職場、地域などの支援や女性の経済的な自立を促す施策は少子高齢化、地域への活性化にも重要なことだと思います。
(女性／40歳代)

◎男女平等を考えることは大事だと思いますが、偏った方向で考えたり、思い込みはいけないので慎重に扱う必要があると思います。相談も大事ですが自立して学んで自分で解決できるように強く生きていける教育も必要だと思います。
(女性／40歳代)

◎性別に関係なく誰もが自分らしい生き方を選べる社会こそがより豊かで持続可能な未来に繋がると
思います。
(男性／60歳代)

◎男女平等は必要ではあるが、性別で出来ない事もある為すべてがすべて平等であるべきではないと思う。体格差などで出来ないものもあると思うので何でもかんでも男女平等は難しい。
(女性／40歳代)

◎男女共同参画社会の推進には賛同しますが、一方で女性にばかり目が向いてしまい、男性側は「女尊男卑」や「男性の方が肩身が狭い」等声を漏らす時があります。「女性だから」や「男性だから」と多くの方が固定概念がなくなれば自然と平等になるのではないかと思います。
(男性／30歳代)

◎日本は男女差別のひどい国だと思います。教育の場でも、女子より成績の悪い男子を優遇したり、職場でも女性には重要な仕事をまかせない。男性中心で物事を決めるから社会全体が歪む。
(女性／50歳代)

◎男・女ではなく人間として（社会人として）、どうあるべきか考えてほしい。子供からの教育のあり方を考えてほしい。
(女性／70歳以上)

◎社会に出て男性と同じ様に働く女性が増えて良かったと思っています。私の若い頃は女性が働くことについて色々な事を言われ、家事も子育ても全て完璧にしようと頑張りました。今は託児施設、社会の支援も充実し企業の取組や男性も積極的に家事・育児に協力しているようです。男女が協力してより良い関係で成長したいですね。
(女性／60歳代)

第Ⅴ章 自由回答

◎昔の“仕事を120%やる男性”から現代の“仕事も家事も育児も120%求められる男性”に役割が変わってきた。女性を守ろう、女性を優遇しようという動きは否定しないが、その分昔の男性の役割プラス現代の男性の役割とプラスオンな負荷が求められ、子育て世代の男性は社会でも家庭でも大変疲弊している。
(男性／40歳代)

◎クオータ制のような男女を均等に割り当てる政策は止めた方が良いと思う。能力がなくても女性（男性）だから採用みたいなのは本末転倒では？機会を設けることには賛成だがそれぞれ得意分野というものがあるのだから何でもかんでも平等というのはおかしいと感じている。
(性別回答しない／30歳代)

◎“男女共同参画社会”と言いますが、それ自体が不平等を言っている。男性・女性の良い所（長所）を見て、それぞれができることを行えば良いと思います。
(男性／50歳代)

◎男性にも女性にも生物学的な性差が明確にあって、それは尊重されるべきものと考えます。公的なサービスや機会は公平に与えられ、それぞれがそれぞれの理想に向かって努力できるようサポートすることが大事だと思います。
(女性／30歳代)

◎男女の平等で女性が男性と同じ仕事、作業をして男性のレベルに合わせるのではなく、誰もが同等の作業ができるようになる事が本当の平等だと思う。
(女性／40歳代)

◎男性も仕事や家庭で色々悩みを持って暮らしている。会社に行くのがつらくても、妻から暴言や無視が続いても子供のことを考えて離婚せずがんばっている人もいる。女性の意見だけでなく、男性の意見も聞いてより良い社会にしてください。
(男性／50歳代)

◎女性の仕事における社会進出の機会が得られるのは良いことだが、同時にそれまでの家庭での役割もそのままである。“共同”参画なので、男性の家庭での役割の変化、社会のサポート等、これから期待。
(女性／20歳代)

◎男女共同参画と名乗っている割には、男目線での質問が少ないと感じた。
(男性／20歳代)

【子育て・介護について】

◎家庭において「手伝う」程度の認識では甘く、家庭での家事育児介護でも、社会での賃金格差でも双方同等であるべき。
(女性／40歳代)

◎現在子供を産むか産まないかを検討する世代ですが、将来への経済的な不安があり踏み切れません。また、体力的に家事育児と仕事の両立に不安があります。すぐ対策をお願いします。
(女性／20歳代)

◎男性が妊娠～子育てについて学ぶ場が必要。夫だけではなく、上に立つ上司や経営者にも学ぶ場が必要。
(女性／30歳代)

- ◎男性が育休を取得する。取得しやすいだけではなく育休の期間の長短関係なく、その復帰後も嫌な思いをせずに働ける職場環境に大小問わずどんな企業もなって欲しいと思います。（男性／40歳代）
- ◎仕事を続けながら子育てしやすい社会になってきたと感じている。男女ともに在宅介護をしながら仕事や社会参加を続けられる社会も期待します。（女性／40歳代）
- ◎家庭では男性の育児、介護への参加に向け企業への男性の育児休暇、介護休暇を利用者へのインセンティブの導入推進を促してほしいです。（女性／40歳代）
- ◎現在は介護に迫われ、パートナーや配偶者を得られる機会に恵まれず当事者として考えられないのが現状。（男性／50歳代）
- ◎男が仕事、女が家庭と分けるのではなく、できる人が仕事をして、もう1人が子育てをしたほうがいいと思う。（女性／40歳代）
- ◎企業にテレワーク、時短をもっと取り入れて欲しい。男性も看護休暇を取得できるようにして欲しい。民間学童が近くに欲しい。フルタイムで働いているが、育児と両立が大変すぎる。（女性／50歳代）
- ◎子供の人生は、母親の接し方がとても重要。それには収入がある程度十分であることと、夫婦間でお互いに思いやりをもって生活できる時間的余裕が必要なので、社会的にこれが満たされることが理想的だと思う。（女性／60歳代）
- ◎女性が男性と同じように働くようになって少子化が進んでいると思います。女性が働いたとしても子供を産み育てられる環境作りを進めなくてはいけないと思います。男女平等は良いですが、子供を産めるのは女性です。（女性／50歳代）
- ◎出産・育児など女性に負担がかかる時がある。その後、職場に戻ることができる流れがまずしっかり確立し、認識を誰でも理解できている社会になることが大切だと思う。（男性／60歳代）
- ◎コロナ・災害等も含むと、自分一人では抱えきれない人が大勢いる。自ら発信できる場が必要だと思います。悩みが小さなうちに国や市に頼る場所・機会が増える社会になる事を切に願います。（女性／50歳代）
- ◎男女関係なく、経済などの問題もあるが、安心してゆったり子育てをできる数年間を持てると良いと思います。（女性／60歳代）
- ◎女性の活躍、地位向上は喜ばしいが、家庭や子育てはもっと大事であり、男女（夫婦）が協力して子育てしやすい、産みやすい社会をつくっていくことが、大変重要である。（男性／50歳代）

第Ⅴ章 自由回答

【意識改革・啓発について】

- ◎男性だからやって当たり前の風潮もあることを知っておいてほしい。女性ばかりでなく男性への当たり前意識の改革も必要。
(男性／50歳代)
- ◎今大人になられている女性の方々に目を向けるよりも、子供の頃から男女関係なく教育していく方が絶対に良いと思う。矛先は今より未来である。
(男性／20歳代)
- ◎こういう活動がある事をどこで知る事が出来るのかわからない。もっと有効的に知らせる方法を考えて欲しい。
(男性／60歳代)
- ◎実際に働き世代のお父さんお母さん双方からの意見は、普段の生活が忙しすぎて、意見を表明できる場所やチャンスが少ないと思うので、子連れでも参加できるイベントの開催の中で、ついでに意見を聞いていただけるなど、その辺りを考慮した場での意見収集を基にした活動を希望します。
(女性／60歳代)
- ◎潜在的な意識を変えていくには、教育や周知によって徐々に周囲の人の認識を変えていく必要があると思う。
(男性／30歳代)
- ◎埼玉県男女共同参画についてあまり存じてませんでした。苦しい人にこそこのような情報が届いていないように感じます。どうかこの政策・意識が広く周知徹底されるように望みます。
(女性／60歳代)
- ◎男性の育休というものを広めてほしい。
(男性／40歳代)
- ◎幅広い年齢層の意識を統一させることは難しいが、理解することを諦めずに老若問わずお互いに歩み寄ろうとする努力をして貰えるような社会になって欲しい。
(女性／30歳代)
- ◎社会のイメージ、考え方、会社の仕組みなど、女性の社会進出、男性の家庭育児介護があたり前の考え方になるようもっと社会に広まって欲しい。会社も社会も規則や法律をどんどん変えるべきだと思う。
(女性／40歳代)
- ◎センシティブな問題ではあるが、多様化する時代の流れに沿っていかねばならないと思います。小さなうちからの教育もとても大事なことで、学校で学ぶ時間があれば自分自身を守る知識を得る事ができると思います。
(女性／30歳代)
- ◎虐げられてきた女性は、助けを求めたいと思っていても自分から行動できないことが多い。問34の「求めること」が難しい方も一定数いるということを知って欲しいと思います。モラ発言・行動は自身では気づきにくかったりするので、本人に気づかせる為の何かしらの場があればいいと思います。
(男性／30歳代)

- ◎これからは、男性と女性が家事・子育て・仕事をわち合う世の中になって欲しい。ジェンダーレスの考え方が更に普及することを願います。
(女性／60歳代)
- ◎女性への役割分担への社会通念、習慣、しきたり等が、いまだに各所で存在していると思います。その考え方を徐々に無くしていくのは、埼玉県の方が必要不可欠だと考えます。未来に向けて頑張ってもらいたいと思います。
(男性／40歳代)
- ◎施策があっても認知度がなければ、使われる事もなく意味がありません。まずは県民に対してアピールして本当にこまっている人を助ける施策を願っています。
(女性／50歳代)
- ◎成人年齢も18才になったので、子供達にももっと早くから広めて、女性として何か悩みを持つ前に、いじめの相談とかと同じように相談できる場所・人・方法をもっと身近に発信して、安心して生活できるようにしてほしい。
(女性／40歳代)
- ◎ささいな事で悩んでる人でも、本人には大事なんです。そんな人達の小さな声を聞き逃がさない様に行政だけでなく身近な人が支えになってくれる、そのような国になってほしいと願います。
(男性／50歳代)

【社会制度について】

- ◎苦しい状況にある人は、少なからず自分から声をあげることができず一人で悩んでいる状態にあると思います。各自治体側でそういった状態にある人を把握できる仕組みがあれば、声をあげられるきっかけのひとつになると思う。
(男性／20歳代)
- ◎難しい。重要なのは個々の意識だろうから、行政が一律に介入できることは少ない。唯一可能なのは教育くらいだろう。問題が起きたときの対処だけは何とか対応できるようにしておいてほしい。
(男性／60歳代)
- ◎出産育児で退職した方が、正社員として再就職しやすい社会になると良いと思います。
(女性／20歳代)
- ◎男女が様々な場面の意思決定にかかわることこそ良い社会が育まれると思います。(男性／60歳代)
- ◎フルタイムで働き保育や学童時間を延長し、帰宅後や隙間時間で子育てと家事、というタイムスケジュールでは、余裕が無くなりツラくなる。子どもを預けるシステムではなく、働くシステムが変わった方が嬉しい。
(女性／30歳代)
- ◎これからももっと女性が働きやすい社会になることを期待しています。
(女性／50歳代)
- ◎子育ては一人では出来ません。親族・近所・友人知人・社会システムなど様々な立場の人がゆるやかにつながって、若い方々を支えていく社会が作れれば、女性の社会参画の後押しとなると思います。
(女性／60歳代)

第Ⅴ章 自由回答

◎DVに関しては、自己肯定感の低い方が多いと思います。そのため、表に出づらい問題なのではないでしょうか。自分からというよりも近所の方などの協力も必要なのではないと思います。

(女性／50歳代)

◎企業や行政の女性リーダーは増えてきたように思いますが、地域の自治会などでは女性リーダーの所は少なく、家庭の事情もあるとは思いますが、何となく無意識の“リーダーは男性”という空気があるように思えます。

(女性／50歳代)

◎話を聞いて欲しいと思っている人は少ないと思います。ただみんなが優しく接してくれる世の中になってほしいです。関わる人がもっと優しくしてくれるだけで変わると思います。(女性／20歳代)

◎学校の面談や行事など共働きだと平日に調整が難しいことを学校側も理解が必要。(男性／40歳代)

◎急激に夫婦共働きの家庭が増えた。日本社会の制度が、その変化に付いてきていない。夫婦共働きの世帯に対するキメ細かいサービスが必要に思います。

(男性／40歳代)

◎子どもがいてからの再就職が本当に厳しいです。

(女性／30歳代)

◎夫（パートナー）が育児休業が取得しやすい職場や社会になってほしいと思います。

(女性／30歳代)

◎家族（夫婦）間DVは妻から夫の場合もあります。男性から女性へ、という要素が強いように感じました。女性も男性も、他の性自認の方も、一人の人間として尊重される社会になってほしいと願っています。

(女性／60歳代)

◎色々な施策があることを知った。本当に困っている時は見つける気力もない状態。周囲が気づき声をかけていける社会になることを望みます。

(女性／50歳代)

◎国会議員、地方議員等にもっと女性議員を増やし、女性の意見等を積極的に行政に反映させるべきと思う。

(男性／70歳以上)

◎困難な問題を抱える女性（男性）への支援には貧困のこともあり、就業・社会保障等、住居・金銭などの自立が問題です。身体と精神のゆとりができて、男女共同参画では？

(女性／50歳代)

◎男女の平等やジェンダーの課題はまだまだ沢山ある気がします。誰もが、一人にならずに誰かが見守る事が出来る社会が出来ると良いと思います。時間がかかる事も多いと思いますが、良い対策が出来る事を願っています。優しい社会でありたいものです。

(女性／50歳代)

【行政施策への要望について】

◎困っている人を無償で援助するなど、目的を明確にして行動指針とする機関であってほしい。慣習にとらわれず、常にあり方を模索する組織であってほしいです。

(男性／40歳代)

- ◎抽象的になるが、社会全体が、誰に対しても思いやりの気持ちを持てるような、心の豊かさを持つことが大切だと思う。そのための支援、推進に努めていただきたい。（男性／60歳代）
- ◎県庁自身、人員にゆとりが無く育児や介護休暇を取りにくく、定時に帰って子どもの面倒を見られることもできなくなっていないか。まず県庁自身が率先して取り組むべきことがいくつもあるので。（男性／50歳代）
- ◎女性が妊娠して仕事場で働けなくなるのは事実だと思います。それを在宅ワークなどで養う組織、企業がもっと増えた方がいいと思います。出産はとてもおめでたいことなのに、女性がそのことでストレスを抱えてしまうのはおかしいと思います。（男性／20歳代）
- ◎モラハラ等で男性が相談できる窓口も、各地域へ複数設置してほしいです。（男性／40歳代）
- ◎性別に関係なく困っていることや悩んでいることを気軽に相談できるようなサポート体制が必要だと思います。（男性／60歳代）
- ◎支援制度や相談窓口に至れない人を救ってほしい。（女性／40歳代）
- ◎自治体（市町村）と連携を密にして頂くとともに、県としては、市・町・村では上手く回らない部分をサポートできる施策を推進頂くことを期待している。（男性／50歳代）
- ◎アンケートを通じて、自分自身が男女共同参画の推進の内容について、よく分かっていないということが自覚できました。行政が積極的に関わってくると有難いです。（女性／60歳代）

